

## シンポジウム記録集2 販売

# 「両宮山古墳以後－古墳時代後期の赤磐と倭王権－」

A5判、巻頭カラー写真、本文140ページ

価格：1,300円

平成29年度に開催された史跡シンポジウムの内容をまとめた記録集。第一線で活躍する研究者らによる講演の記録、パネルディスカッションの内容を掲載。

古墳時代後期の赤磐で見られる古墳の築造原理の変化、埴輪・陶棺・鉄生産といった産業の展開が示すものとは？倭王権との関わり、東アジア世界の対外関係もふまえた多角的な視点から両宮山古墳「以後」の赤磐、そして日本列島の社会変動にせまる！

「古墳時代後期の赤磐の古墳」

岡山県古代吉備文化財センター 金田 善敬

「埴輪と陶棺の生産」

岡山県古代吉備文化財センター 尾上 元規

「六世紀における列島社会の構造変動と吉備」

岡山大学大学院社会文化科学研究科教授 今津 勝紀

「畿内からみた手工業生産とミヤケ」

京都府立大学文学部教授 菱田 哲郎

「考古学からみた備前地域の屯倉」

岡山理科大学生物地球学部教授 亀田 修一

そのほか討論内容などを収載

